

1. 第2回リスクマネジャー交流会の報告

テーマ：「多職種実践報告会」

4 施設4 職種からの医療安全活動の実践報告

日時：令和元年9月28日 13時30分～16時30分

場所：姫路商工会議所

ねらい：医療安全活動の役割を担うスタッフの交流を図り、情報提供や相互支援を行い、自施設や地域の医療の質の向上につなげる

施設内の課題や悩みを解決し、医療安全活動を推進する

参加者：30名(看護師・薬剤師・臨床工学技士・管理栄養士)＋西播医療安全委員9名

<たつの市民病院：看護師>

DonotStopMe!!～身体拘束をしない風土づくり



回復期リハビリテーション病棟の身体拘束を減らす取り組み事例を紹介し実践を報告。

<赤穂市民病院：薬剤師>

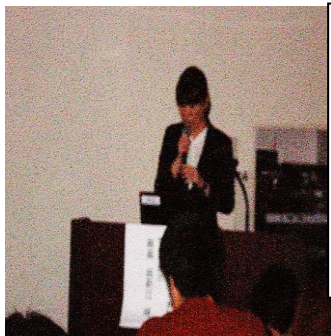
医薬品安全管理への取り組み



ハイリスク薬についての調査研究を実施しSSパターンを選択できるシステム構築と連携による院内標準化について報告。

<公立神崎総合病院：管理栄養士>

インシデント・アクシデントレポートを活用して



給食科のオーダーリングシステムを活用することでインシデント報告の減少につながった活動と、ステップカード(気づき報告)の運用を報告。

<姫路聖マリア病院：臨床工学技士>

円滑な手術を行うために臨床工学技士ができること



手術室のCEの役割と業務内容を明確にし、円滑な手術ができるように専門性に特化したチーム医療を報告。

受講者のアンケート結果より

- ・多職種が協力して「安全」ということを中心にチームで考えていきたいと思いました。
- ・グループワークでは、実践報告者からのコメントを受け、他職種との意見交換や情報交換を行うことで自施設での今後の医療安全活動やチーム医療につなげることが出来ました。

研修の評価

「多職種と連携をする・協力し合っていく・安全をチームで考える・多職種の業務を理解する・職種間のギャップを是正する」などの意見が多く、医療安全活動の役割を担うスタッフの交流が図れ、研修の目標は達成できた。

2. 第3回リスクマネージャー交流会

テーマ：「眠れないと言われたら？」

～怖くない！せん妄・睡眠障害への対処法～第2報

日時：令和元年11月16日（土）13時30分～16時30分

場所：姫路商工会議所

講師：清水 勇雄 先生（高岡病院：精神科・内分泌代謝内科・緩和医療認定医）

ねらい：睡眠障害を理解し、対応方法を学ぶ

各施設で起こっている困難事例を共有し、安全対策に活かすことが出来る

参加者：29名（看護師）＋西播医療安全委員10名



せん妄・睡眠障害は今や common disease(一般的な病気)

まずはせん妄の鑑別、その後に環境調整・原因検索。薬を使う前にはタイプ分けを
「正しい知識・対応で、患者さんも医療従事者も幸せになる」

チームで考える、みんなで支援 —One Team—



受講者のアンケート結果より

- せん妄のサインに早く気づきたい。
- すぐに薬剤を使いがちのため環境調整し、しっかりとアセスメントしていくことが大切。
- 今回の研修の内容を、病院のみんなに伝えたい。
- グループワークの意見や質問、先生の回答がすごく参考になった。
- せん妄に対して他職種で関わっていけるよう組織づくりができればよいと思った。

弁護士との事例検討会

問題患者の対応、暴言・暴力、転倒転落など、医療安全管理上の問題に対しての法的根拠に沿った検討会を開催しています。

自施設の困難事例の解決や、他施設の事例から学びもあります。

西播の医療安全を担う皆様とネットワークを広げましょう。

参加をお待ちしています。

第3（火） 16時～17時30分 姫路商工会議所（参加費 無料）

参加ご希望の方、ご相談のある方は以下までご連絡ください

発行元：兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会

事務局：県立姫路循環器病センター 医療安全管理室 船間昌代

電話：079-293-3131 FAX：079-295-8199 e-mail：Masayo_Funama@pref.hyogo.jg.jp